

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4 年 2 月 10 日

事業所名 ROSELLE CLUB T

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|---|----|-----|---|--------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | | 机やロッカーなどの配置を端にしたりして工夫しています。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 6 | | シフト作成時に配置数を確認しながら作成しています。 | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 6 | | 段差等なく、バリアフリーで児童発達支援の児童（幼児）でも過ごしやすい環境です。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 6 | | 清潔に過ごせるよう毎日、掃除、消毒の徹底を行っています。 | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 6 | | 前日の振り返りをし、1日0日職員同士目標設定の確認に取り組んでいます。 | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | | 保護者等向け評価表を確認し保護者の意向や意見を尊重しながら業務改善できるような話し合いを行っています。 | |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | | 評価表を法人のホームページに載せています。 | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 6 | | 外部から、業務についてのアドバイスの等がある時は全職員と共有し、改善に努めています。 | |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | | 研修の案内があると職員が参加できるように調整しています。 | |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 6 | | 保護者の意見、意向を尊重し計画書を作成しています。 | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | | 職員全員で児童の行動を観察し、ミーティング等で全職員の意見を聞いたり、他の事業所の職員に聞いたり、客観的に見られるように工夫しています。 | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 6 | | 定期的に事業所内でミーティングを行い、児童や送迎時等に接する家族の様子等を話し合ったり、気づいた事をこまめに報告したりと、その都度、支援に必要な項目が選べるように工夫しています。 | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 6 | | 支援計画を全職員で確認し、支援の仕方を皆んなで把握して、支援にあたるように工夫しています。 | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | | 前月に翌月のプログラムを職員で案を出し合って計画しています。 | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | | 定期的に、プログラム内容を見直したり、児童の様子等を見て、プログラム内容の変更等の工夫しています。 | |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 6 | | 児童の様子を全職員で話し合い、気になる事や支援の仕方について話す機会を持ち、計画に反映できるように工夫しています。 | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | | 支援開始前に保護者からの申し送りの報告やその日の活動内容等を確認しています。 | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | | 振り返りやヒヤリハットをその日で共有しています。 | |

| | | | | | |
|--------------------------|----|--|---|---|--------------------------|
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 毎日、支援についての記録をとり、振り返りをする時間が取れない時は申し送りノートを活用しています。 | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 6 | 定期的に保護者に連絡し、モニタリングを行ったり、児発管が送迎に入り、自宅の様子等を見に行けるように工夫しています。 | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | 児童発達管理責任者と児童指導員が参加したり、会議前に職員から児童の様子を聞き取りをしています。 | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 6 | | 新型コロナウイルスの影響により行えていません。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 6 | | 医療ケアに該当する児童なし |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 6 | | 医療ケアに該当する児童なし |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 6 | 児童の様子や家庭の様子等を聞いている保育園等と情報共有をするように、送迎時等に申し送りを行うように工夫しています。 | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 6 | 事業所での様子等を共有できるように、情報をまとめる等、工夫をしています。 | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 6 | | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 6 | | 新型コロナウイルスの影響を受け行っておりません。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 6 | | 新型コロナウイルスの影響を受け行っておりません。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | 送迎時に活動内容を報告したり、様子をお伝えしたり、連絡帳も活用しています。 | |
| 保護者への説明責任 | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 6 | 保護者からの聞き取りで、質問や相談などがあれば、解決できるように、相談にのったり、講習会の案内等もお知らせしています。 | |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | 契約書をお渡す時に、承諾していただけるように、説明しています。 | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 6 | 保護者からの聞き取りをして、ニーズを把握して計画を立て、説明も行っています。 | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | 送迎時などに保護者からの話を聞き、一緒に支援について考えたり、解決できるように職員全員で考えています。 | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 6 | | 新型コロナウイルスの影響により行っておりません。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | 申し入れがあれば、体制を整え、適切に対応できるように、全職員に周知しています。 | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | 毎月事業所だよりを発行して情報をお知らせしています。 | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 6 | 個人情報は厳重に鍵付き書庫に保管したり、全職員に取り扱いに注意するように伝えていきます。 | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | 連絡帳を活用したり、電話やメールでも対応するようにしています。 | |

| | | | | | | |
|---|----|--|---|--|---|--|
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 6 | | 事業所の開所式に招待をしたり、公民館に訪問したりと、交流をはかっています。 | |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 6 | | 定期的に訓練の予定を立て、実施し、マニュアルについても全職員と確認をしています。 | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | | 定期的に訓練の内容を考え、行えるように職員間で考え、訓練を行っています。 | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 6 | | 保護者からの聞き取りを行った時に児童の状況を把握しています。 | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6 | | アレルギーについて、情報を確認し、対応の仕方等を職員間で共有しています。 | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | | 毎週、事業所内ミーティングで事例をあげてもらい、全員で共有しています。 | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | | 虐待防止のための研修を全職員が受け、対応をしています。 | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 6 | | 身体拘束を必要とする児童はいませんが、対応しなければいけない時は、保護者とも相談し、対応していきます。 | |
| ○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。 | | | | | | |